

井上靖氏の小説『氷壁』は、ナイロンザイル事件を素材として、昭和三十一年十一月から朝日新聞に連載小説として掲載されました。

この小説は登山ブームを呼ぶきっかけとなり、小説の終盤に徳澤園が「徳沢小屋」として登場します。

小坂（遭難した若山五朗がモデル）の妹で魚津（登攀リーダーの石原國利がモデル）の恋人、かおるは飛騨側から滝谷、涸沢を越えて下山して来る主人公の魚津とこの小屋で逢い、二人は結婚への道を進むはずでした。が、魚津の「遭難」という悲しい知らせが届きます。以来、徳澤園は「氷壁の宿」として有名になりました。

今回の企画展に際し、徳澤園様から多大なご厚意をいただきました。厚く御礼申し上げます。

石岡繁雄の志を伝える会